

報告事項ツ

平成25年度第6回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について

平成25年度第6回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成26年3月21日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 平成25年度第6回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について

平成26年3月21日  
高等学校課

- 1 日時 平成26年2月17日（月） 午前10時～正午
- 2 場所 白兔会館
- 3 参加者 別紙のとおり（委員：8名、オブザーバー：3名）
- 4 議事 次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について

総合学科高校の3名の校長をオブザーバーとして招へいし、当該校の現状や課題等に係る報告をもとに、質疑等を行った。（青谷高校、鳥取緑風高校、米子高校）

### 5 委員等からの主な意見

#### 【主な意見の内容（●委員、○オブザーバー）】

##### （総合学科の理念・特色）

- 中学校の立場からすると、総合学科の内容や特色を進路指導の中で生徒に伝えていくのは中学校の責任であり、生徒や保護者の多様なニーズに対応するという点では総合学科は有益な部分がある。
- 総合学科の特色を生かして、一生を通じた教養や人生を豊かに過ごすための魅力のある系列や教科の設置も可能だと思う。

##### （系統的な学習）

- 総合学科は、設置当初は様々な目的があって設置されたが、専門にしても進学にしても中途半端なことが問題。今後は、科目選択を生徒に委ねるのではなく、ある程度コースのような縛りをかけながら系統的に学習させていくことが必要となってくると思う。
- 幅広い科目選択であるとか生徒の個性を生かした主体的な学習により将来の職業選択に繋げるという総合学科の設立当初の理念では、進路実現の部分でうまくいかなかった部分があるので、ある程度、系列の科目選択の縛りを強くしていく方向で考えている。
- 総合学科は、少人数の授業ができるということが一番の魅力であり、それにより興味を持って3年間過ごせる生徒もいる。目標を持った3年間を過ごさせるためにも、系統性を強めた学習指導を行っていきたい。

##### （進路選択）

- 社会に貢献できる人材の育成を考える上では進路が非常に大きな要素になるが、その中でも職業意識がどれだけ深まっているかが大切。
- 高校を卒業してから専門学校等へ進学する生徒が多いということは、系列やコースを自分の希望で選択できていない生徒が多いのではないか。
- 専修学校や各種学校への進学者の中には、看護や保育など将来の仕事に繋げようという気持ちで進学する生徒が多いと思う。
- 総合学科の科目選択は進路選択に直結してくるので、その科目選択の指導が総合学科のキャリア教育だと思う。

鳥取県教育審議会学校等教育分科会 出席者一覧

区 分	氏 名	職 名	備考
鳥取県教育審議会 学校等教育分科会 委員	池 内 勝 彦	鳥取県高等学校PTA連合会長	
	石 操	日吉津村長	欠席
	門 脇 由 己	米子北高等学校長	
	栢 木 隆 志	米子市立福米中学校長	
	小 枝 達 也	鳥取大学地域学部教授、附属小学校長	欠席
	高 橋 千 枝	鳥取大学地域学部地域教育学科准教授	欠席
	長 尾 志 保	鳥取県PTA協議会ブロック理事	
	松 本 清 治	県立倉吉西高等学校長	
	丸 山 智 子	県立倉吉養護学校長	欠席
	森 田 清 子	北栄町北条こども園長	
	矢 部 敏 昭	鳥取大学副学長	
	山 口 朝 子	鳥取市教育委員	欠席
	山 本 正 人	鳥取市立若葉台小学校長	

区 分	氏 名	職 名	備考
オブザーバー	長 谷 川 祐 司	県立青谷高等学校長	
	橋 本 代 里 子	県立鳥取緑風高等学校長	
	末 次 壽 也	県立米子高等学校長	